



子供たちが活躍する将来に向けて

校長 垣崎 晃

文部科学省は現在、GIGA スクール構想をすすめています。GIGA スクール構想とは、Society 5.0 時代に生きる子供たちの未来を見据え、児童生徒向けの1人1台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する計画です。

練馬区でも、校内LAN環境の整備や学習ツールの整備などが行われはじめています。また、1月から中学校全校への学習用タブレット端末の導入が始まり、順次、小学校全校に導入されます。(使用に関するお願い等は学習用タブレット配布時にお知らせいたします。)

校内LANや学習ツールの整備は十分ではありませんが、子供たちが学習用タブレット端末を手にしたときには、その整備がなされていなければ意味がありません。そこで、情報モラル教育(ネットリテラシー教育)やプログラミング教育を支援している「教育ネット」と連携し、それまでになにができるかを考え、経済産業省が推進するEdTech(エドテック)事業への申請を行いました。これは、EdTechを学校などに導入実証する事業者が費用の一部を補助する制度で、教育のイノベーション(技術革新)につなげることを目的としています。大泉東地区の小学校8校(大東、豊溪、大一、大北、学園、泉新、橋戸、八坂)がEdTech事業に認可され、「教育ネット」と連携を取りながら、全学年での情報モラル学習やプログラミング学習に取り組んでいくことになりました。

子供たちが、ICT機器を使い、すぐにでも、どの教科でも、だれでも活用できるよう、そして、教科の学びを深め、教科の学びの本質に迫れるよう、教育活動をすすめていきます。

また、大泉東地区の8校では、「教育ネット」と連携して、オンラインによる学校アンケート集計の準備をしています。ご家庭にございます、パソコンやタブレット、スマートフォンなどから、指定されたサイトにアクセスしていただき、オンラインで回答していただきたいと考えています。その際には、ご理解ご協力のほど、よろしく申し上げます。

・・・お知らせ・・・

12月、1月の土曜日に計画していた道徳授業地区公開講座ですが、新型コロナウイルスの「第3波」により、実施を中止いたします。今後の学校公開については、コロナの収束状況により、実施の検討をしていきます。ご理解をよろしく申し上げます。